

人のためにできることからコツコツと

# RE:TA



災害発生時に社屋を開放

## 『新津町自治会との災害協定を締結』

地域と共に防災力を高めます

### TOKIWA サステイナブルニュース

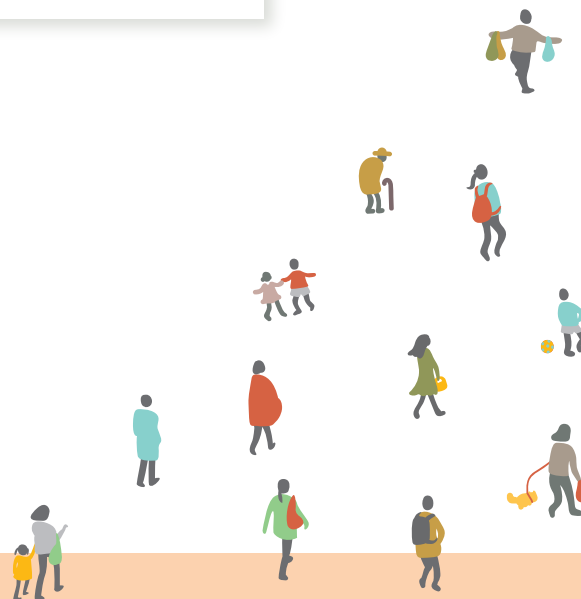
地域と共に防災力を高めます

浜松まつり

レスキューボードベンチ

ときはま講演会

コラム 一結杳然





地下水の試飲



新津町自治会と常盤工業による避難所体験の様子

## 『新津町自治会との災害協定を締結』 地域と共に防災力を高めます



2024年3月に当社と新津町自治会との間で、災害協定を締結しました。社屋の所在する新津町の皆さまと共にまちの防災力を高めることは、町民の皆さまが生命と生活を守り当社も復興事業にすぐに取り掛かれることに必ず役立つものと思っています。

### 協定内容は？

主な協定の内容は、①災害時一時避難所として社屋を開放、②生活・飲料用水として地下水提供、③太陽光発電や蓄電池を兼ねる電気自動車からの電気提供、④備蓄品の提供、となっております。当然ながら地域の避難所拠点は学校となりますが、そこまでの移動が難しい場合などに利用頂きます。また冷・暖房の熱源として常時汲み上げている地下水が当社にあります。それを生命と生活に欠かせない水として、積極的に提供が可能です。

### 協定を結んだ理由は？

この社屋を活用して様々な地域交流イベントを行ってきました。いつか必ずやって来る災害の時こそ「地元新津町のために貢献したい」という思いで、改めて災害協定を締結させて頂きました。

そしてもう一つの理由が、災害復興を担う建設会社として、「いつかその時」になるべく早

く復興事業に取り掛かれるようにとの思いからです。企業活動は地元住民の皆さまの理解と協力により成り立っています。結果として企業のBCPやレジリエンスを高めることにもなる地域防災力を町民の皆さまと共に強化していきたいと思えます。

### 合同の災害訓練

初めての合同災害訓練として、避難所体験を9月に行いました。まずは町民の皆さまに協定の内容を知って頂くことが始まりですが、社屋というハードに運用というソフトが揃ってこそ協定の効果を発揮するものと考えられます。今後も合同訓練を定期的に行うことで、いつか必ずやって来る災害の時に協働して立ち向かえるホンモノの地域防災力を高めていきます。



備蓄品展示

**RE;TA** RE:TA  
ってどういう意味？

常盤工業の社は「**自利 利他**」を由来にしています。他者を利することが、Re=自利に返ってくる。それが繋がり(「;」は接続の意味がある)と感謝(「ta」はありがとうの意味がある)を生み出していく。その繰り返しで**サステナブルな社会をつかっていく**。そんな想いを込めてRE;TAと名付けました。

## 祝！ときポート落成&会長米寿



### 浜松まつりとは

浜松まつりは初子の誕生を地域の人々でお祝いする伝統行事です。昼間には初子の名前が入った凧を中田島砂丘にて天高く揚げ、夜は絢爛豪華な御殿屋台がお囃子の演奏と共に町内を練り歩きます。近年は、初子だけでなく、第2子以降や地域内の様々なお祝い事と一緒に祝いをする風習があります。

### 新津町凧揚会のみなさまにお祝いしていただきました

浜松まつりにて、常盤工業社屋「ときポート」の誕生と常盤工業会長の米寿（88歳）をお祝いしていただきました。新津町凧揚会のみなさまより、「コロナ禍のため、できていなかった新社屋落成のお祝いを！」とお声をいただき、夜の町内練り歩きに来ていただきました。たくさんの方にお祝いいただき、夜の社屋も会長もうれしそう^^

今後も地域に愛される企業となれるよう安全第一で仕事をして参ります。何卒ご愛顧くださいませ。



常盤工業社屋「ときポート」



常盤工業会長ご夫妻



普段はベンチとして、地域の人が休める場所に



訓練の様子

通常時はベンチ、傷病者発生時には担架として使える「レスキューボードベンチ」を工事現場に設置しています。担架として利用する場合、ベンチ裏に付いているベルトで傷病者を固定し安全に運ぶことができます。レスキューボードベンチを使用した訓練も実施しています。

もしものために

レスキューボードベンチ





脱炭素リーダー対談会の様子



夫馬賢治氏記念講演

## カーボンニュートラル講演会開催 ときはま講演会



社屋のZEB達成を記念したカーボンニュートラル講演会を行いました。第一部では、カーボンニュートラルを経済的視点から捉える第一人者でメディアでのコメンテーター出演や著書も多数の夫馬賢治氏をお招きして、その経済的チャンスとリスクをお話し頂きました。第二部では、当社同様にサステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）に本部・本店が採択

された浜松いわた信用金庫の竹内氏と両建物に関わられた(株)日建設計金子氏と久保氏をお招きして、社長の市川を交えた対談を行いました。経済、金融、建築、グローバル、地域など様々な切り口からカーボンニュートラルを捉えた講演会として好評を頂きました。今後もこのような講演会を企画して、地域へ様々な学びの機会を提供していきたいと思えます。

column

### 一結杏然 地方創生と防災

先日、新津町の石川自治会長から「新津町の世帯数が増えている」という話を伺いました。当社との災害協定が原因となっているなどと自惚れを言うつもりはありませんが、そのまちの防災力を高めることは人口を増やしまちを活性化させる一つの要因となるのでは・・・そう思う気づきを得た一言でした。対災害では損害と損失の軽減が主たる目的であるのは当然です。しかし発想転換と長期

展望をすると、防災力を高めることが地域の魅力となり人を惹き付けて最終的に経済的な循環性を高めることになるのではないのでしょうか。防災を地方創生における一つの柱としていく、そんな攻めの視点で考えることが防災力の可能性を高めるような気がしますが、守ることを意識しがちな防災ですが、逆転の発想で考えてみるのはいかがでしょうか。

(経営企画部 高橋脩夫)

